

スリーエスG工法【(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 取得】

スリーエスG工法は、独自開発の特殊攪拌翼を用いた斬新な施工システムにより、安定的に高品質をご提供できる(財)日本建築総合試験所認定のスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法です。



[拡大表示できます]

特徴

1、適用地盤の範囲が広い

砂質土、粘性土、ローム地盤に適用が可能

2、信頼性の高い施工管理システム

特殊攪拌翼を用いた施工システムにより、攪拌効率が格段に高まり、安定した品質を確立

3、狭小地など多様な現場に対応

狭小地住宅向けの小型マシンから幅広いバリエーションの専用マシンを数多く保有するため、多様な物件のご依頼にも対応可能

4、様々な改良形式と幅広い改良径に適用可能

杭形式、接円配置、ラップ配置、ブロック形式、壁形式など様々な改良形式の選定が可能

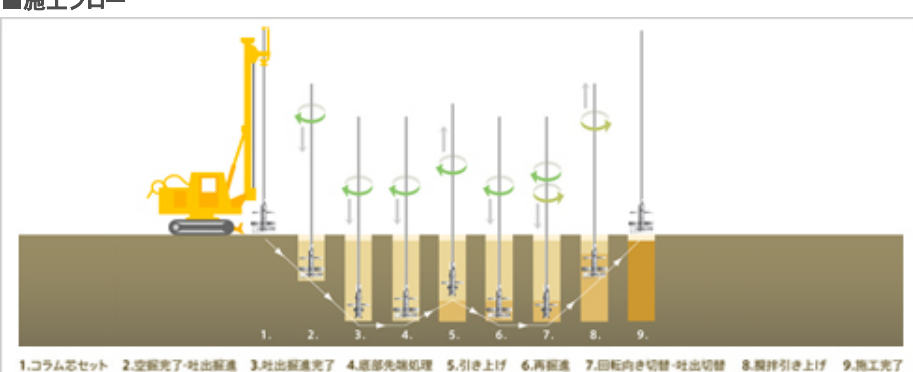
5、周辺環境への配慮

低振動・低騒音工法であり、近隣への影響は、ほとんどありません

施工方法

独自の攪拌機構により、高い攪拌効率を実現し、強度にバラツキの少ない施工を可能にした工法です。

■施工フロー



©Lille,inc

■特殊攪拌翼



品質確認

スリーエスG工法は、多様な地盤で各種試験を行い、品質管理を行っておりますので、いつでも安心して確実な品質をご提供いたします。

■掘り出し状況



■改良体底部



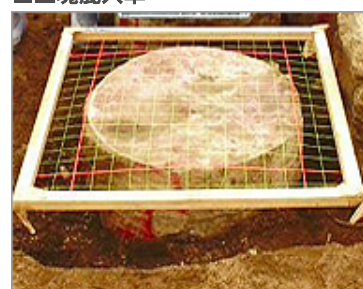
■ハンドコア抜き



■オールコア抜き



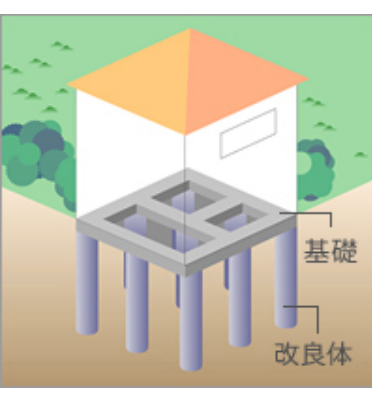
■土塊混入率



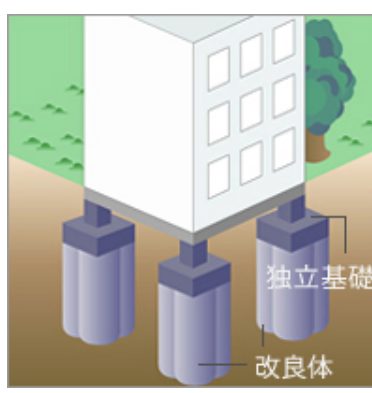
用途

スリーエスG工法は、建築・土木構造物の基礎補強をはじめとする多くの用途に適用可能です。

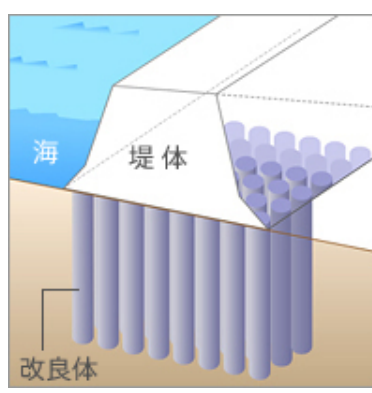
■低層建築物の基礎



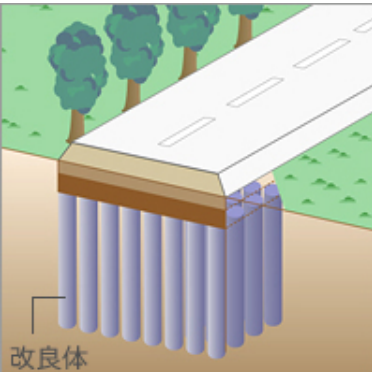
■中層建築物の基礎



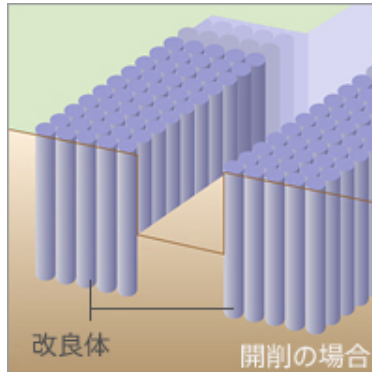
■河川築堤・護岸の基礎



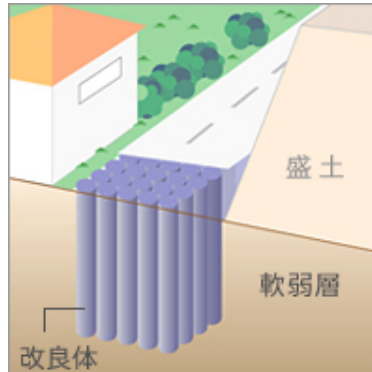
■道路・盛土の沈下防止



■山留め・止水壁



■隣接構造物への影響防止



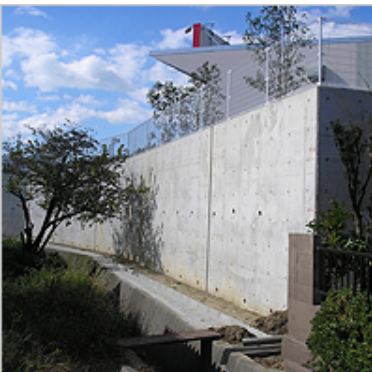
©Lille,inc

施工実績・施工事例

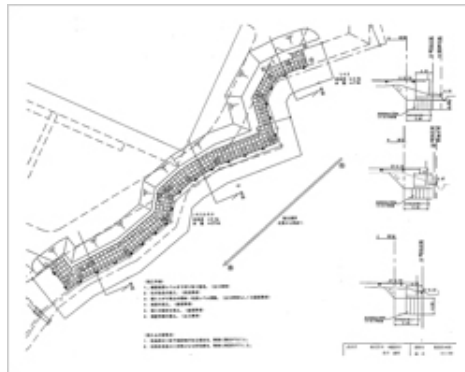
施工例【擁壁の基礎】

構造種別:L型擁壁 / 壁高: H=3.80~5.28m / 最大地盤反力: qmax=約154.1~198.1kN/m2
杭径: φ=1000mm / 改良長: L=2.5m, 4.0m / 本数: N=348本

■全景



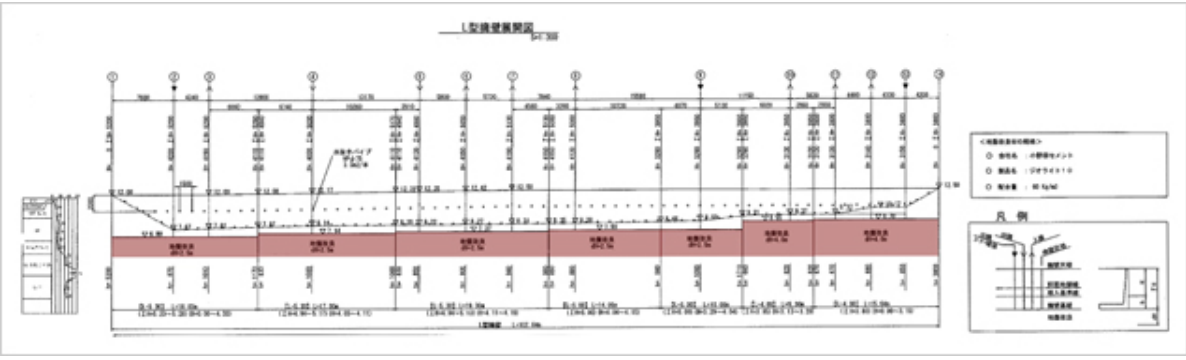
■平面図



■ボーリングデータ

ボーリング番号	深度 (m)	土質	改良体
1	0.0	表層土	なし
1	1.0	砂質土	改良体
1	2.0	砂質土	改良体
1	3.0	砂質土	改良体
1	4.0	砂質土	改良体
1	5.0	砂質土	改良体
1	6.0	砂質土	改良体
1	7.0	砂質土	改良体
1	8.0	砂質土	改良体
1	9.0	砂質土	改良体
1	10.0	砂質土	改良体
1	11.0	砂質土	改良体
1	12.0	砂質土	改良体
1	13.0	砂質土	改良体

■展開図

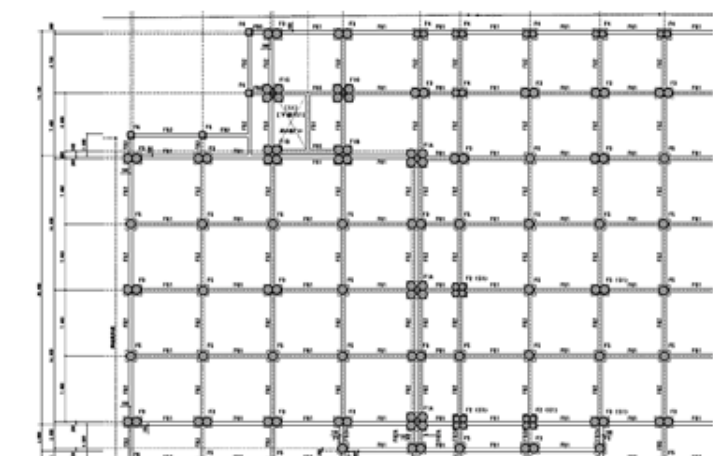


笠岡モール 新築工事



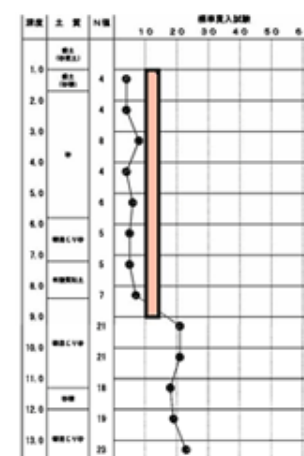
■全景

構造種別:鉄骨造
階高:平屋
建物用途:店舗
建物面積:5890m2(2棟合計)
基礎形式:独立基礎
改良径:φ1000mm、φ800mm
改良長:8.0m
改良本数:282本
設計基準強度:Fc=900kN/m2
最大設計荷重:227.0kN/m2



■改良体配置図

[拡大表示する]



■ボーリングデータ

[拡大表示する]